

令和3年 救急統計

とかち広域消防事務組合

凡 例

- 1 本書は、令和3年中に発生した救急事故全般について、救急事故等報告要領に基づいて算出したものを統計資料としてまとめたものです。
- 2 数字の単位未満は四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。
- 3 表中で使用した符号は下記のとおりです。
 - 「-」・・・該当数字又は集計値のないもの
 - 「※」・・・注釈
 - 「▲」・・・マイナス表示

目 次

1 救急出動件数及び搬送人員数	1 ページ
2 事故種別ごとの救急出動件数及び搬送人員数	2～3 ページ
3 年齢区分別の搬送人員数	4 ページ
4 傷病程度別の搬送人員数	5 ページ
5 救急出動における現場到着所要時間及び病院収容所要時間	6 ページ
6 熱中症による搬送人員数	7 ページ
別表 十勝管内消防署別救急出動件数と搬送人員	8 ページ

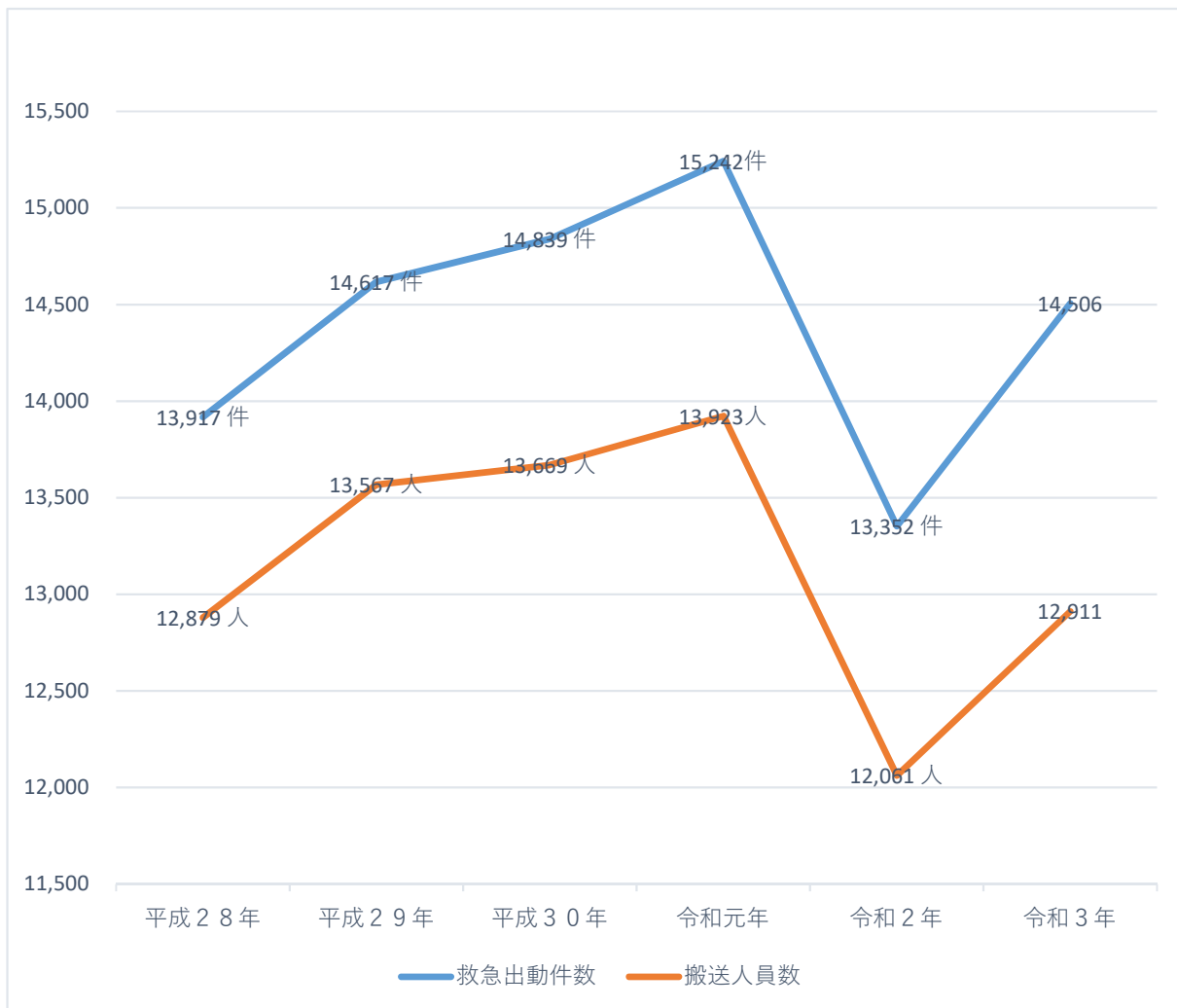
1 救急出動件数及び搬送人員数

令和3年中の救急出動件数は、14,506件（対前年比1,154件増、8.6%増）、搬送人員数は12,911人（対前年比850人増、7.0%増）で救急出動件数、搬送人員数ともに前年を大きく上回りました。（図1）

救急車は36.2分に1回の割合で出動し、十勝管内の住民25.8人に1人が搬送されたこととなります。

※ 令和2年国勢調査人口（確定値）による管轄人口を基準に算出した値です。

図1 救急出動件数及び搬送人員数の推移



2 事故種別ごとの救急出動件数及び搬送人員数

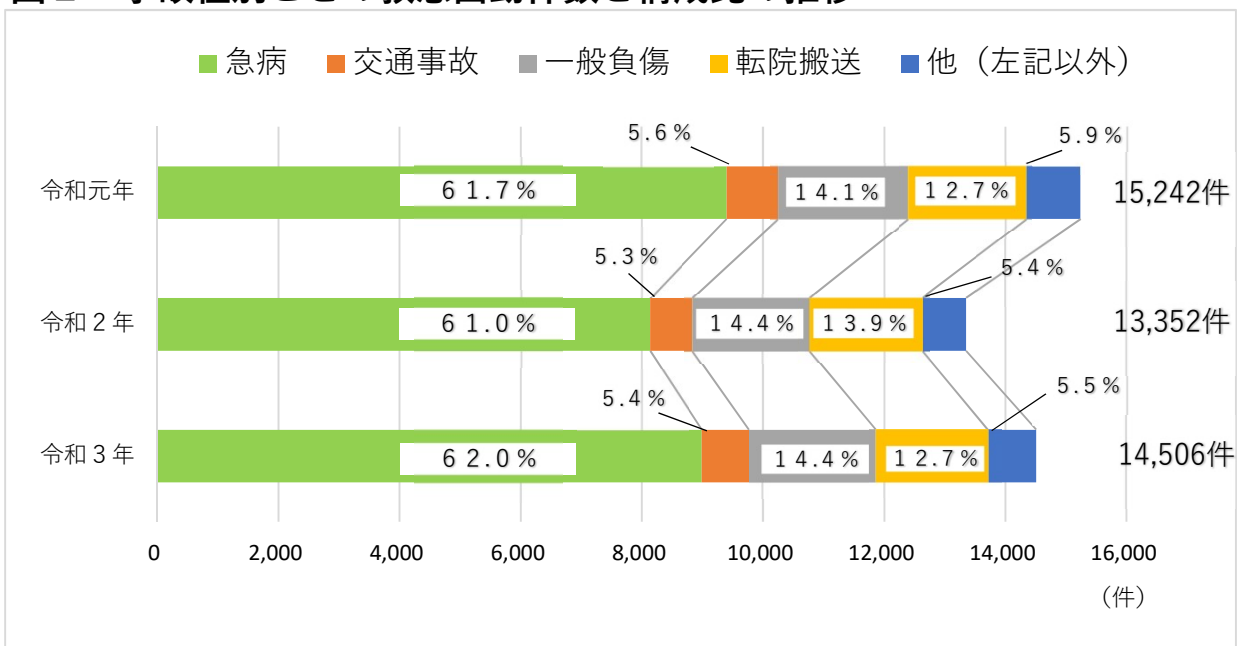
令和3年中の救急出動件数の内訳を事故種別ごとにみると、急病が8,988件（62.0%）、一般負傷が2,094件（14.4%）、交通事故781件（5.4%）などとなっています。（表1参照）

事故種別ごとの救急出動件数の推移をみると、急病、一般負傷、交通事故などの種別で増加しています。（図2参照）

表1 事故種別ごとの救急出動件数対前年比

事故種別	令和3年中		令和2年中		対前年比		
	出動件数	構成比 (%)	出動件数	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)	
火災	60	0.4	51	0.4	9	17.6	
自然災害	2	0.0	0	0.0	2	-	
水難	7	0.0	9	0.1	▲ 2	▲ 22.2	
交通事故	781	5.4	710	5.3	71	10.0	
労働災害	196	1.4	176	1.3	20	11.4	
運動競技	90	0.6	66	0.5	24	36.4	
一般負傷	2,094	14.4	1,925	14.4	169	8.8	
加害	30	0.2	35	0.3	▲ 5	▲ 14.3	
自損行為	161	1.1	158	1.2	3	1.9	
急病	8,988	62.0	8,139	61.0	849	10.4	
その他	転院搬送	1,842	12.7	1,853	13.9	▲ 11	▲ 0.6
	医師搬送	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	資機材等搬送	0	0.0	0	0.0	0	-
	その他	254	1.8	229	1.7	25	10.9
合計	14,506	100.0	13,352	100.0	1,154	8.6	

図2 事故種別ごとの救急出動件数と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

令和3年中の搬送人員数の内訳を事故種別ごとにみると、急病が8,006人（62.0%）、一般負傷が1,912人（14.8%）、転院搬送が1,835人（14.2%）などとなっています。（表2参照）

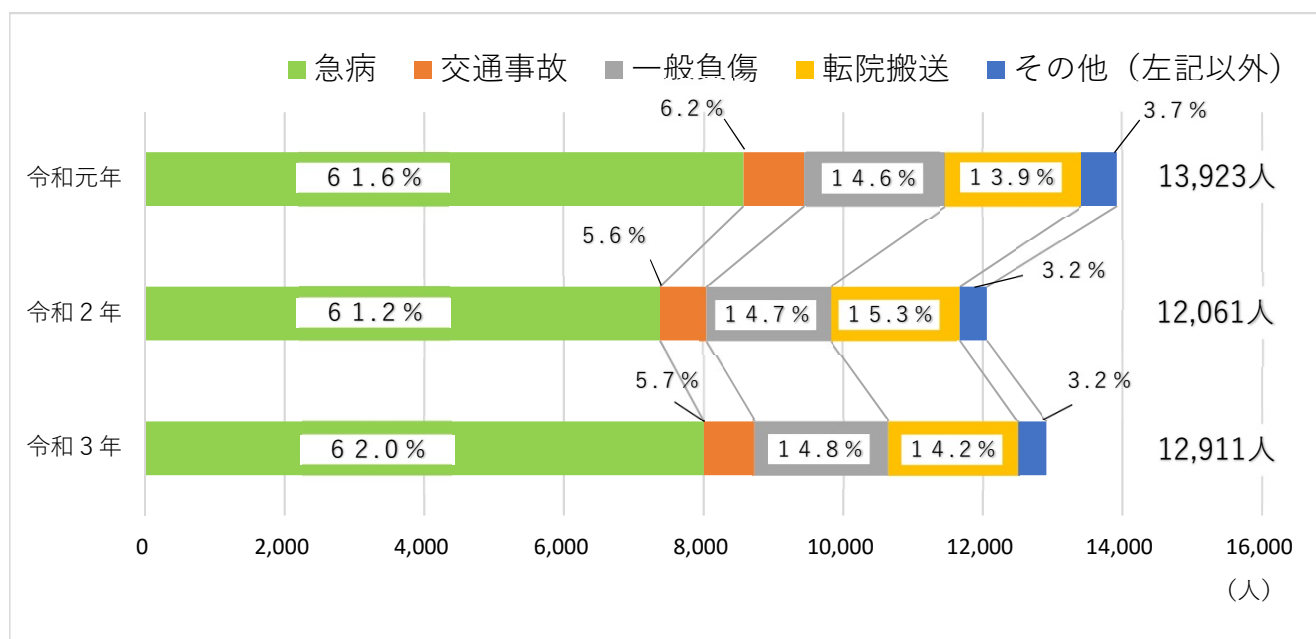
令和2年中と比較し、全体で850人増加しており、事故種別ごとの搬送人数の推移をみると、救急出動件数と同様、急病、一般負傷、交通事故で増加しています。

（図3参照）

表2 事故種別ごとの搬送人員数対前年比

事故種別	令和3年中		令和2年中		対前年比		
	搬送人員数	構成比（%）	搬送人員数	構成比（%）	増減数	増減率（%）	
火災	14	0.1	21	0.2	▲7	▲33.3	
自然災害	0	0.0	0	0.0	0	-	
水難	2	0.0	5	0.0	▲3	▲60.0	
交通事故	740	5.7	675	5.6	65	9.6	
労働災害	188	1.5	172	1.4	16	9.3	
運動競技	86	0.7	67	0.6	19	28.4	
一般負傷	1,912	14.8	1,772	14.7	140	7.9	
加害	22	0.2	30	0.2	▲8	▲26.7	
自損行為	101	0.8	88	0.7	13	14.8	
急病	8,006	62.0	7,376	61.2	630	8.5	
その他	転院搬送	1,835	14.2	1,848	15.3	▲13	▲0.7
	医師搬送	0	0.0	0	0.0	0	-
	資機材等搬送	0	0.0	0	0.0	0	-
	その他	5	0.0	7	0.1	▲2	▲28.6
合計	12,911	100.0	12,061	100.0	850	7.0	

図3 事故種別ごとの搬送人員数と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

3 年齢区分別の搬送人員数

令和3年中の搬送人員数の内訳を年齢区分別にみると、高齢者が8,497人（65.8%）、成人が3,734人（28.9%）、少年が345人（2.7%）、乳幼児が317人（2.5%）などとなっています。

（表3参照）

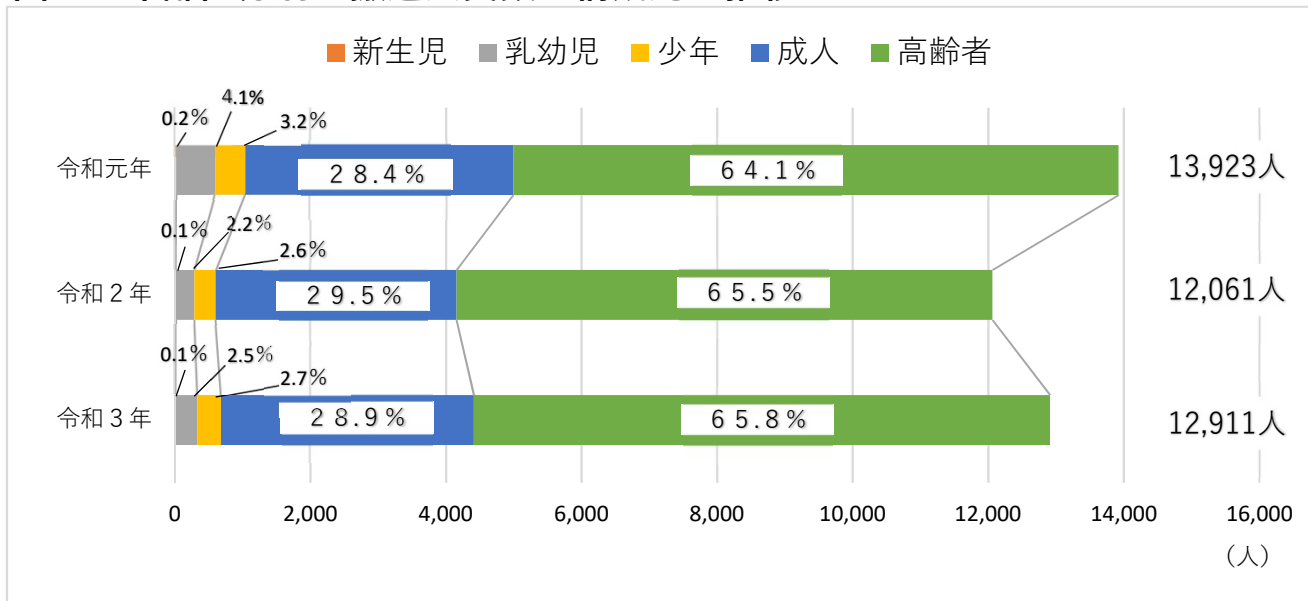
年齢区分別の搬送人員数の推移をみると、乳幼児、少年、成人、高齢者が増加しています。

（図4参照）

表3 年齢区分別の搬送人員数対前年比

	令和3年中		令和2年中		対前年比	
	搬送人員数	構成比 (%)	搬送人員数	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)
新生児	18	0.1	18	0.1	0	0.0
乳幼児	317	2.5	271	2.2	46	17.0
少年	345	2.7	312	2.6	33	10.6
成人	3,734	28.9	3,556	29.5	178	5.0
高齢者	8,497	65.8	7,904	65.5	593	7.5
合計	12,911	100.0	12,061	100.0	850	7.0

図4 年齢区分別の搬送人員数と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※ 年齢区分の定義

- 新生児 : 生後28日未満
- 乳幼児 : 生後28日以上満7歳未満
- 少年 : 満7歳以上満18歳未満
- 成人 : 満18歳以上満65歳未満
- 高齢者 : 満65歳以上

4 傷病程度別の搬送人員数

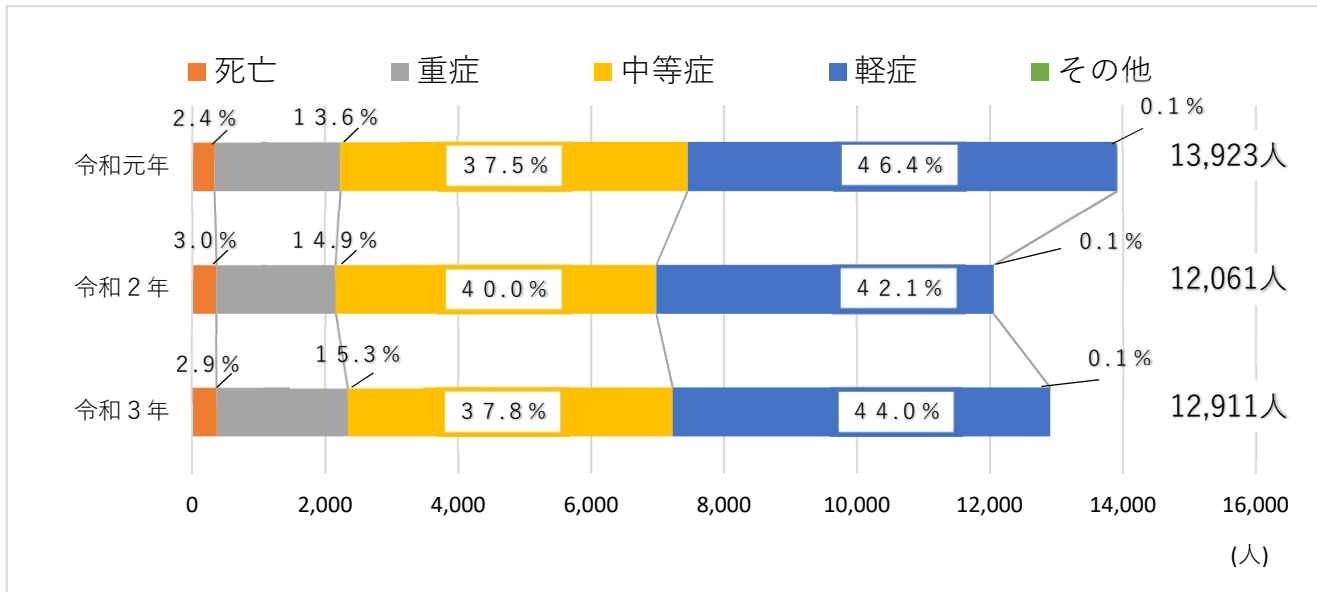
令和3年中の搬送人員数の内訳を傷病程度別にみると、軽症（外来診療）が5,679人（44.0%）、中等症（入院診療）が4,885人（37.8%）、重症（長期入院）が1,974人（15.3%）となっています。（表4参照）

傷病程度別の搬送人員数の推移をみると、総搬送人員数に占める軽症、重症の傷病者の搬送割合は増加しています。（図5参照）

表4 傷病程度別の搬送人員数対前年比

	令和3年中		令和2年中		対前年比	
	搬送人員数	構成比 (%)	搬送人員数	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)
死亡	369	2.9	361	3.0	8	2.2
重症（長期入院）	1,974	15.3	1,800	14.9	174	9.7
中等症（入院診療）	4,885	37.8	4,821	40.0	64	1.3
軽症（外来診療）	5,679	44.0	5,075	42.1	604	11.9
その他	4	0.1	4	0.1	0	0.0
合計	12,911	100.1	12,061	100.1	850	7.0

図5 傷病程度別の搬送人員数と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※ 傷病程度の定義

- 死亡：初診時において死亡が確認された方
- 重症（長期入院）：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とする方
- 中等症（入院診療）：傷病程度が重症または軽症以外の方
- 軽症（外来診療）：傷病程度が入院加療を必要としない方
- その他：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、もしくはその他の場所に搬送した方

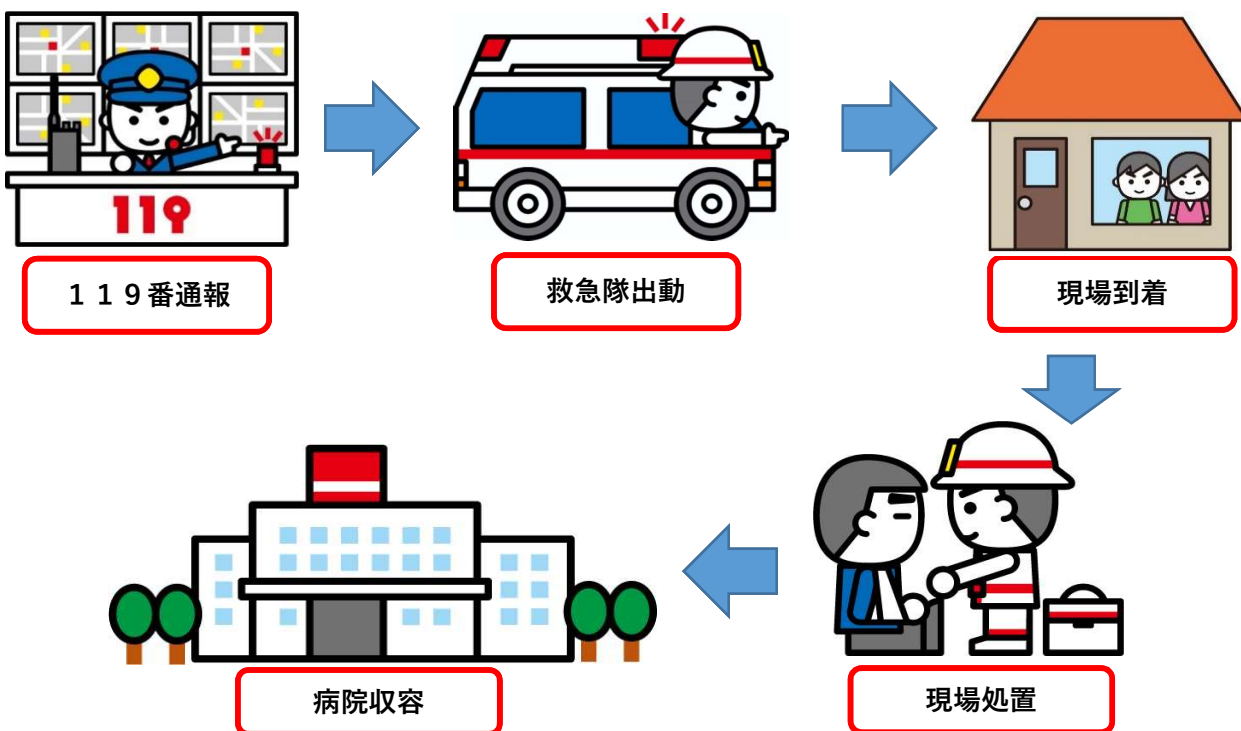
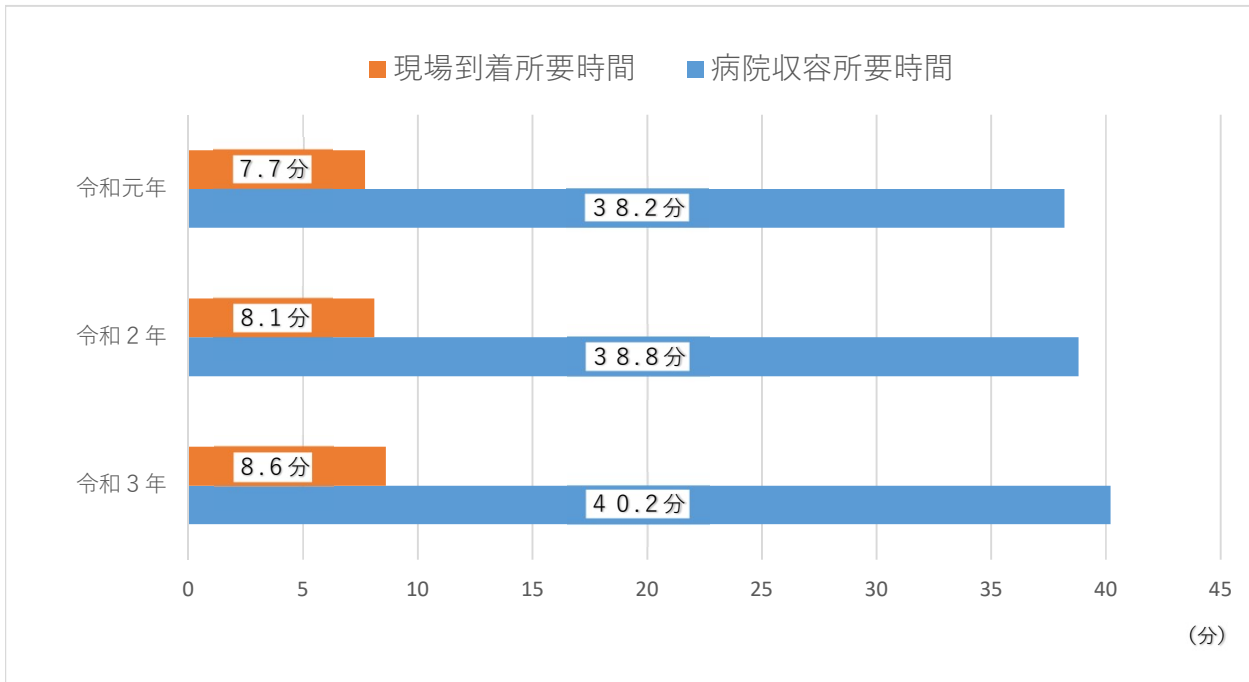
※ 傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれています。

5 救急出動における現場到着所要時間及び病院収容所要時間

令和3年中の現場到着所要時間（119番通報を受けてから現場に到着するまでに要した時間）は、十勝平均で8.6分となっています。（図6）

また、病院収容所要時間（119番通報を受けてから病院に収容するまでに要した時間）は、十勝平均で40.2分となっています。（図6）

図6 現場到着所要時間及び病院収容所要時間の推移



6 熱中症による搬送人員数

令和3年5月～9月の熱中症による搬送人員のうち、年齢別にみると、高齢者が110人（66.7%）、成人が47人（28.5%）、小年が7人（4.2%）、乳幼児が1人（0.6%）となっています。

傷病程度別にみると、死亡が1人（0.6%）、重症（長期入院）が8人（4.8%）、中等症（入院診療）が43人（26.1%）、軽症（外来診療）が113人（68.5%）となっています。

男女別にみると、男性95人（57.6%）、女性70人（42.4%）となっています。

表5 熱中症による搬送状況

		令和3年中の搬送人員							令和2年中の搬送人員					
		5月	6月	7月	8月	9月	合計	構成比 (%)	6月	7月	8月	9月	合計	構成比 (%)
年齢区分	新生児	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
	乳幼児	0	0	1	0	0	1	0.6	0	0	1	0	1	1.0
	少年	0	2	5	0	0	7	4.2	1	3	5	0	9	9.0
	成人	1	9	24	13	0	47	28.5	2	5	27	2	36	36.0
	高齢者	1	14	75	20	0	110	66.7	12	9	28	5	54	54.0
傷病程度	死亡	0	0	1	0	0	1	0.6	0	1	0	0	1	1.0
	重症	0	0	6	2	0	8	4.8	1	0	3	0	4	4.0
	中等症	1	3	32	7	0	43	26.1	2	4	15	2	23	23.0
	軽症	1	22	66	24	0	113	68.5	12	12	43	5	72	72.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
性別	男性	2	15	58	20	0	95	57.6	9	9	33	5	56	56.0
	女性	0	10	47	13	0	70	42.4	6	8	28	2	44	44.0
搬送人員		2	25	105	33	0	165	100.0	15	17	61	7	100	100.0

※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※ 年齢区分及び傷病程度は表3及び表4の注釈参照

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査開始が6月1日からとなります。



別表 十勝管内消防署別救急出動件数と搬送人員

	救急出動件数				搬送人員			
	令和3年	令和2年	増減	増減率	令和3年	令和2年	増減	増減率
帯広消防署	7,388	6,934	454	6.5	6,273	5,949	324	5.4
音更消防署	1,617	1,390	227	16.3	1,466	1,302	164	12.6
士幌消防署	284	235	49	20.9	264	237	27	11.4
上士幌消防署	251	237	14	5.9	243	226	17	7.5
鹿追消防署	170	165	5	3.0	166	160	6	3.8
新得消防署	239	207	32	15.5	232	202	30	14.9
清水消防署	321	296	25	8.4	302	287	15	5.2
芽室消防署	778	673	105	15.6	697	642	55	8.6
中札内消防署	175	149	26	17.4	173	141	32	22.7
更別消防署	138	133	5	3.8	134	127	7	5.5
大樹消防署	233	213	20	9.4	217	202	15	7.4
広尾消防署	302	288	14	4.9	284	274	10	3.6
幕別消防署	1,079	995	84	8.4	1,014	943	71	7.5
池田消防署	355	326	29	8.9	334	312	22	7.1
豊頃消防署	167	121	46	38.0	153	101	52	51.5
本別消防署	334	395	▲ 61	▲ 15.4	322	382	▲ 60	▲ 15.7
足寄消防署	382	338	44	13.0	365	329	36	10.9
陸別消防署	122	114	8	7.0	118	110	8	7.3
浦幌消防署	171	143	28	19.6	154	135	19	14.1
十勝総数	14,506	13,352	1,154	8.6	12,911	12,061	850	7.0

作成担当

とかち広域消防局救急企画課

令和5年1月作成